

四
万
十
物
語
道

めがね橋(武蔵野 佐川橋)
佐川山 国有林と 田野2 駅木場と
結ぶ森林鉄道の橋。
高は約20m。幅2m。
当時の営林局土木技術と駆使で
作られた。
湖畔に映る姿がめがねに見えるところ
が「めがね橋」と呼ばれ親しまれている。
明治～昭和の時代、国有林の
木材生産事業が盛んであった歴史を
今に伝えるとともに、文化的景観と
して下津井のシンボルになっている。

車の通行や
ランニングが
最適の環境
夏場は本
涼しい。

ウォーキング・トレイル

かつて森林鉄道が国有林から伐り出された木材を運搬していた。
石炭、木や橋、トンネルなど当時の姿をとどめ、みごとな景観として自然にとけこんでいる。
全長 7.2 km
湖畔に吹く森の風を感じる
ここでできる自然散策ルート

当屋祭(飯食い祭)

春日神社の霜月まつりの日には
部落の人たちが二組にわかれ
一組がもう一方の組の当頭(どがら)の
家にまねかれごちそうになる。
まず、お茶、さけ、そして酒もりをはしめる。
さらにごはん一杯、汁椀と下り、折檻(しおん)。
やがて赤だすきの若者二人が二升入りの
飯二つのごはんを汁椀におよそ
30cmも盛りつけてもてなす。
そのあと、「式三番」という謡をうたい
最後に白湯が出て行事は終る。
ごはんを食べ残すことは法度
とされた。この飯くいまつりは
1960年(35)頃からおこなわれな
くなった。残念。

津賀ダム平和記念碑

1938年、国家総動員法により
軍事目的のために電力が国家統制。
1941年より工事開始。
太平洋戦争が始まると労働力が
不足し、朝敵糧より約200名の
人々が集められた。
旧十和村津賀まで5.66kmの
ずい道を掘り、963mの落差が
ある水力発電所を作った。
昼夜交代の重労働で、何
たぐいの人々の犠牲者が出た。
戦争での中絶があり
1951年に津賀ダム完成。


 檐の上からの
 浮谷美!!

1990年から幡多高校生と「サルガ」
地域の協力を得て突雷所
建設の調査を開始し、多くの
朝鮮の人々が犠牲となったと
建設工事の実態が明らかとなる。
朝鮮や韓国の高校生が、の地を
訪れるようになり、過去を省みて
平和な未来を築き、人々の交流が
続くことを祈念して、2009年
8月9日、平和記念碑が建立
される。

至田野々

国道439号
よさく街道

豊かな縁と
水に恵まれた
奥四十。
湖畔に映える
四季折々の風景
すばらしい。
日々の喧騒を
暖かい光が心
といてくるよう

木影も
咲く
水の青さ

水にうつり
こゝろ やわらかい
光景にほたる。
不規則な自然の
ゆらぎに心か
そらでいく。

一斗二升=約18kg
白湯…おかわりのようなもの

2013.12.15